

## 別紙

### 国道九四フェリーの概要

1968年の設立以来、高知県高知市から大分県大分市に至る国道197号の海上区間（海上国道）として大分県佐賀関港から愛媛県三崎港を航路で結んでいます。

現在は観光や物流などで年間約26万台の車両と約55万人のお客様にご利用いただいています。（2019年度実績）

### 【会社概要】

- ・会社名 国道九四フェリー株式会社
- ・本社所在地 大分県大分市大字佐賀関750
- ・設立年月日 1968年2月1日
- ・資本金 480,000千円
- ・従業員数 105名（2020年7月末現在）
- ・営業所 佐賀関営業所（大分県大分市）、三崎営業所（愛媛県伊方町）
- ・船舶 3隻（遊なぎ、速なみ、遙かぜ）



遊なぎ



速なみ



遙かぜ

### 【フェリーの運航概要】

- ・運航区間 大分県佐賀関港～愛媛県三崎港（約30km）
- ・運航ダイヤ 朝7時台から夜23時台まで1時間毎で運航
- ・所要時間 約70分
- ・運航本数 1日16往復



【国道九四フェリーの年譜】

1968年（昭和43年）2月	設立
1969年（昭和44年）4月	日本道路公団から委託を受け、佐賀関港～三崎港間のフェリー航路開設
1972年（昭和47年）5月	近畿日本鉄道（現 近鉄グループホールディングス）が資本参加
1988年（昭和63年）4月	日本道路公団から事業譲受
2001年（平成13年）1月	「遙かぜ」就航（697トン）
2012年（平成24年）2月	「速なみ」就航（995トン）
2016年（平成28年）6月	「遊なぎ」就航（998トン）
2018年（平成30年）2月	設立50周年
2019年（令和元年）12月	佐賀関港新ターミナルビル供用開始
2021年（令和3年）2月	「涼かぜ」就航予定（1200トン）

以上